

2023年度 認定こども園 常磐大学幼稚園 自己評価のまとめ

○自己評価

各設問に対して4～1の段階で評価

4…目標が十分に達成されている。

3…目標がほぼ達成されている。

2…重要な点で成果が上がっていない。

1…全体として成果が上がっていない。

【評価項目】

1 質の高い学校教育としての保育の向上

(1)教育理念

○園の教育方針

・園の教育方針を理解している	4
----------------	---

(2)保育の計画性

○教育課程

・園の教育課程を理解している	3
----------------	---

・教育課程をもとに指導計画をたてている	4
---------------------	---

○指導計画

・指導計画は教育要領・教育課程・幼児の実態などをもとに考えて作成している	4
--------------------------------------	---

・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を踏まえた指導計画の見直しを常に行っている	3
--	---

○月案・週日案

・教育課程をもとに幼児の実態に合わせて作成している	4
---------------------------	---

・自分なりに表記の仕方を工夫し課題をもった内容になるよう努力している	3
------------------------------------	---

③保育の実践

○5領域

・健康・人間関係・環境・言葉・表現の内容を踏まえ偏りなく保育活動を実践している	3
---	---

・特に環境を通して行う幼稚園教育の実践に努めている	3
---------------------------	---

○子どもとのかかわり

・子どもの心身の状況や変化を常に把握している	3
------------------------	---

・子どもの話をよく聞き、常に子どもの気持ちを受け止められるよう気を付けている	4
--	---

・子どもの発達や性格に応じた関わり方方を実践している	4
----------------------------	---

・子どもの人権を尊重して保育にあたっている	4
-----------------------	---

○教師間の連携

・子どもについて常に教師同士で話し合い、クラス、学年を越えて情報交換する機会を持っている	4
--	---

・教師間で保育技術や保育方法の意見交換をする機会がある	3
-----------------------------	---

・独断で行動せず、事前相談・事後報告をし合っている	4
---------------------------	---

○保育の記録・反省

・一人ひとりの子どもをよく観察するよう心がけている	4
---------------------------	---

・クラスの運営や子どもの生活、または育ちを毎日記録している	3
-------------------------------	---

・反省を踏まえ、次の日の保育に生かす工夫をしている	3
---------------------------	---

④学級運営

○保育室の管理

・保育室内の整理整頓を心がけ、掃除がいきとどいている	3
----------------------------	---

・子どもの動線を考え、安全に配慮した環境になっている	4
----------------------------	---

○事務処理

・出席簿、週日案等は毎日正確に記入している	4
・配付物は決められた期日に配付している	4
・連絡ノートはすぐに目を通し適切に対応している	4
・保護者からの提出物、現金など注意深く管理している	4

2 特色ある教育活動としての大学院・大学・短大との連携

・短大・四大生のゼミ活動に対する積極的な参加協力をしている	4
・わくわくチャレンジ(理科・体育・造形・音楽・サッカー)や、ハローイングリッシュなどのプログラムを保育活動として有効に取り入れている	4
・実習活動、インターンシップ等において、受入れ体制の充実と指導力の強化に努めている	3

3 給食と食育活動

旬の食材を使った給食やおやつ(市販)を和やかに食べられるような雰囲気づくりをする	4
食に対し興味や関心をもち、感謝をしながら無駄にせずいただく気持ちをもてるようにする	4

4 地域の小学校の子ども・教職員の交流

・小学校の教育内容について理解しようとしている	3
・卒園した子どもの情報を得るように努力している	3
・地域の小学校の行事や公開授業に積極的に参加し交流をもつ機会を得ようと努力している	2

5 資質向上のための研修の充実

(1) 研修・研究への意欲

・研修会(処遇改善加算に向けても含む)に進んで参加する	3
・保育関連の専門書や専門雑誌を読んでいる	3
・研修会で習得したことを実際の保育に生かしている	3
・子どもの実態に合わせて、教材研究をしている	3
・園内研修会において、クラスの実態に合わせた活動の実践に努めた	4

6 総合的な保育の支援(保護者・地域ニーズの考慮)

(1) 保育等に関わる情報発信の強化

・子どもの変化や出来事、日常の様子を出来る限り保護者に伝えている	3
・保護者からの依頼や質問、相談などには適切に対応している	4
・家庭との連携が不可欠であることを認識し、保護者との情報交換に努めている	3
・日々の保育活動を、FacebookやInstagramなどを活用し発信している	3

(2) 協力と支援

・保護者からの意見、要望については安易に受けたり、断ったりせず、上司に報告・連絡・相談・確認・記録をしている	4
・保護者への支援が可能な部分については、上司・他の教職員の合意のもとで行っている	4
・保護者の協力が必要な場合は、上司と協力のあり方を協議の上で保護者に依頼している	4

(3) 良識とモラル

・保護者との接し方は平等になるよう心がけている	4
・保護者に対して丁寧な言葉づかいで話し、誠実に聞いている	4
・すべての保護者に対し、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている	4

(4) クレームの対処

・クレームに対して謙虚に話を聞いている	4
・保護者の意を理解し、その上で園の意向も理解してもらい、納得が得られるように努めている	3
・必ず、上司に報告・連絡・相談・確認・記録をしている	4

7 安全面への対応・衛生管理

(1) 園内の安全対策

・園内に危険な物、壊れた物はないか常に観察し、発見次第報告している	3
・園が行っている安全対策について理解している	3
・消火器、火災報知器などの位置を把握し、使い方を理解している	3

(2) 飲食物や薬品の管理

・飲食物の保管には十分配慮している	4
・救急薬品、清掃用薬品の保管、取り扱いには十分配慮している	4

(3) 事故やけがに対する対応

・事故やけががあった時は迅速かつ適切に責任をもって対応し記録をしている	4
・事故やけがの状況や原因を把握し上司、保護者に報告している	4

・その場に適した言動がとれるよう努めている	4
・服装・髪型・身だしなみなど、清潔感があるよう心がけている	4

(4) 降園途中の安全対策

・通園バス添乗の場合、添乗における安全対策・注意事項を理解し配慮している	4
・降園時の子どもを確実に保護者に手渡し、その後の見回りも積極的にしている	3

(3) 職務の遂行とモラル

・職員として誠実に職務に専念している	4
・職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの守秘事項は厳守している	4
・重要書類や個人情報にかかわる資料等は確実に保管し、園外に持ち出さない	4
・教材・教具の管理、点検に気を配っている	3

8 子育て支援

・地域における保護者の実情や要望による子育て支援ニーズを把握している	3
・カウンセリングの基礎を理解し、保護者に対して相談対応などを行っている	3

(4) 組織の一員としてのあり方

・教職員全員でひとつのチームであることを意識している	4
・自分の意見と異なる結果になっても、決定したことには快く協力実行している	4
・当番や担当などの仕事の分担は、積極的に責任をもって実行している	4
・園児募集への取り組みを積極的に行っている	3

9 預かり保育

・保護者の実情や要望をできるだけ取り入れ、預かり保育事業の実施に協力している	3
・預かり保育事業を行うにあたり、体制整備に関して職員間で議論している	3

10 期待される望ましい保育者像

(1) 幼稚園教諭としての能力

・幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けた上での実践に努めている	4
・子どもの性格や個性を把握するよう努め、コミュニケーションがとれる	4
・仕事の手順を考え、優先順位を見極め能率良く行っている	4
・リーダーシップを発揮し、魅力ある学年・クラス運営目標を達成しようとしている	3

(2) 教諭として

・保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている	4
-----------------------------------	---

[2023年度を終えて]

・特別支援や見守りが必要な子どもたちを中心に、教師間で情報を共有した。時折、気持ちに寄り添う難しさを感じながらも一人一人の成長を願い、保育にあたった。

・3学期、クラスごとに指導案を作成し、研究保育を実施。年少組は環境構成を重視した好きな遊びの活動、年中組は科学的な思考につながっていく遊び、年長組は「小学校の日」の一斉的なプログラムとして、国語・算数力の基礎となる内容の活動だった。年中・年長組は有効的にITCを活用し、年少組も含め、それぞれの学年の育ちに合致した興味深い活動だった。教員の資質向上にもつながるものだった。

・日々のドキュメンテーションなどもSNSを通して、園外に発信し、少しでも本園の良さを周知していくことに努めた。

入園募集も含めて、入園説明会、勉強会など、チラシを早めに作成し、未就園児対象の施設を中心に周知していたが、思うような参加人数にはつながらない面もあった。保護者アンケートではアイデアを募り、参考となる事案もあったため、検討事項としてとらえ取り組んでいきたい。

・保育で対応が困難な場合や、園務で担当者が欠勤の場合において、職員間で助け合える協力体制が整っていた。

Speed、Smile、Teamworkを合言葉にして1年間取り組んだ。